

ぶちらいふ

らいふ通信

lifsea
株式会社リフシア

HP/https://lifsea.co.jp
スタッフブログ
https://lifsea.blog.jp

2023夏Vol.70

編集 後記

今号のぶちらいふは、「リフシアの20年」を特集しました。紙面の最後に創業当時から介護事業を支えるベテランパートスタッフを紹介します。リフシアの成長と変遷を支えてきたスタッフの皆さんに心から敬意と感謝を申し上げます。これからも地域から必要とされるよう頑張しましょう。

ぶちらいふ編集室 三島智恵美



■佐藤祥子さんはリフシア萩園の調理スタッフとして2006年10月に入社しました。写真(上)は小嶋副社長から、永年勤続10年表彰されているところ。毎週40食以上の昼食を準備するのは時間と戦い、体力勝負。入社時から現在まで変わら

■リフシア萩園開設初期の2005年2月からデイサービスで働く入井友子さんは、キャリア50年以上の超ベテラン看護師です。病院や老人保健施設、訪問看護などの経験を活かし最後は在宅介護に携わりたいと、気がつけばリフシアで一番長く働いているパート社員です。いつもポジティブに相談できるので、様々な疾患をお持ちの方が利用するデイサービスの強い味方です。



ずはつらつとして、いつもキッチンから笑顔で皆さんを見守ってくれます。

■松丸洋子さんと石山直実さんはリフシア松林の調理スタッフとして2006年12月に入社しました。小規模多機能は要介護度の重い方が多く、食事形態などに気を配らなければならぬキッチンです。タンプポのセントラルキッチンができるまでは常にリフシアの嚥下食づくりをリードする存在で、味も見た目も美味しそうと評判でした。

■石川浩美さんは2009年4月にリフシア松林に入社しました。介護職として15年目になります。離職の多い介護現場で長く続けられたのは



写真左から松丸洋子さん、石川浩美さん、石山直実さん

デイサービスを利用しながら

いつまでも自分らしく

2005年9月「ぶちらいふ創刊号」の表紙を飾ってくださった高橋王子さん(90歳)は、現在もリフシア萩園を利用しています。18年ぶりにお話を伺いました。



ぶちらいふ創刊号

らいふ萩園(現リフシア萩園)ができた頃に私が骨折して入院したので、要介護だった夫が先にここに通い始めました。まだ70歳と若かったから、その当時をよく覚えて

しをしてから来ました。実はデイサービスの日は帰ってからご褒美のビールを楽しみにしています。ショッピングカートを押してスーパーへも行き

います。皆さんと一緒に湘南平のお花見や、中華街に何度か行きましたね。

当初は通うのが目的ではなく「元氣になつたら地域に出かけよう」と、介護保険外の催しを何度か企画した

たら、高橋さんは毎回参加してくれましたね。90歳になつて生活は変わりましたか?

(編集室)

今も主婦をやっています。今朝も自分のごはんを用意して、洗濯とゴミ出



デイサービスの宝くじと競馬で、先週は5万らいふ(施設通貨)増やしたそうです

デイサービスの送迎車で撮影(2006年春)高橋王子さんとぶちらいふ編集室(み)



テラスで撮影(2023年5月)松尾敦子所長と一緒に

ますし、ご近所さんと世間話したり、あつという間に一日が終わって、昔と生活はあまり変わっていません。夫が亡くなってから、お昼や夕飯は上にいる息子夫婦と一緒に食べるようになったけど、家族の助けはありがたいです。体力が落ちて行動も鈍くなったと感じるので転ばないように注意はしています。

高橋王子さんにとってリフシア萩園はどのようなところですか。(編)

いつも職員さんが元気に挨拶してくれて「今日も頑張ろう」と思えるところ。仲のいい人もいます。初めて来はじめた人は知り合いがいなくて心細いでしょう、私から声をかけるようにして少しか。今日も行くところがある」のは張り合いいになりますからね。不安だからと家でふさぎ込んでいたら余計に老けてしまうから、デイサービスに来て元氣にならなくちゃね。

くよくよしない性格と話す高橋さんから私たちスタッフはいつも元氣をいただいています。これからもリフシア萩園を宜しくお願いします。

読者プレゼント

ぶちらいふ編集室が出版した「湘南のうみに住んで(非売品)」を先着10名の方にプレゼントします。ぶちらいふ創刊から15年間にわたり掲載したコラムをまとめた本です。



お問い合わせ/株式会社リフシア事業企画部「ぶちらいふ編集室」
Tel: 0467-55-5102/info@lifsea.co.jp

らいふ通信「ぶちらいふ」 夏20周年特別号 Vol.70

2023年6月15日(季刊発行)

編集/ぶちらいふ編集室

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1

TEL: 0467-55-5102 FAX: 0467-55-5103

発行/株式会社リフシア

創業20年を迎えて

株式会社リフシア 代表取締役 加藤 順一

拝啓 入梅の候 皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、リフシアは2003年7月1日に大勝建設介護事業部として発足、そして2010年に株式会社リフシアとして分社独立し、今日に至りました。そして本年は、介護事業に取り組み開始以来20周年を迎える運びとなりました。これもひとえに皆様方の厚いご支援ご指導の賜物と心より感謝いたします。

職員一同、引き続き鋭意努力を重ねる所存ですので、今後とも倍旧のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願いいたします。 敬具



リフシア20年の歩みと展望

株式会社リフシア 取締役副社長 小嶋 達之

だわりを持てたのは、幸いだったと思います。

『リフシアのケア』とは、「心を添えてともに生きる」という理念のもと、たとえ要介護になっても、「住み慣れた地域での在宅生活継続」。そして、そのための「新しい価値」の提供です。

リフシアは2003年の創業以来、常にこの「新しい価値」提供の実現を目指しました。

そして、在宅生活を支える多様なサービスを一元的に提供するための「サービス・ネットワーク」構築に努めてきました。

今、この「サービス・ネットワーク」は、単に介護サービスの集まりという範囲に留まらず、在宅での食環境改善を目指した「介護食・嚥下食」の提供や、介護予防の自立高齢者向けの運動教室といった生活支援にまで至る幅広いものとなっています。

私たちはこの「サービス・ネットワーク」こそが、新しい視点での介護サービス提供を可能にすると考えています。

様々な生活課題を持つ要介護高齢者並びにご家族様に、多様な専門職が向き合います。

そして個々のご本人の有する能力や生活環境に応じた「在宅生活継続」のための方法を提案します。

それが、「もう諦めていたけど、まだこうすればできるんだ」といった、お一人お一人にとつての「新しい価値」につながるのです。

振り返れば早いもので創業20年、その道のりは決して平坦なものではありませんでした。そんな時、地域の皆様のお支えや、職員一人一人のたゆまぬ努力のもとに今のリフシアがあることは疑いありません。

しかしこれからは、高齢化の更なる進展とともに生産年齢人口の急減といった、今までにない大きな社会変化の到来が本格化します。誰も経験したことのない社会です。

このような時代には、より明確な方向性が必要になります。そしてピンチはチャンス発想です。

リフシアは、「三つの視点」を示し、力強く推進することで、さらなる成長を目指していけると考えています。

介護保険制度とリフシアの歩み

- 第1期2000年～2002年
介護保険制度スタート
自立支援、利用者本位、社会保険方式
2003年7月
株式会社リフシアの前身となる大勝建設介護事業部発足
- ◆2004年8月
らいふ萩園 デイサービス開設
(現リフシア萩園)
- 第2期2003年～2005年
高齢者の単身世帯や認知症高齢者の増加にともない在宅支援の強化、医療と介護の連携へ
地域密着型サービスの創設、地域包括支援センターの創設と予防給付の開始
- ◆2005年7月
らいふ萩園居宅介護支援センター開設 (現ケアプラン リフシア)
- ◆2006年12月
らいふ松林 小規模多機能開設
(現リフシア松林)
- 第3期2006年～2008年
大手介護事業者の不正請求・違法申請が発覚、再発防止に向け「業務管理体制の整備」が義務付けられた
- ◆2008年4月
らいふ神明 小規模多機能・グループホーム開設(現リフシア神明)
- ◆2009年12月
株式会社リフシア設立
らいふ柳島 小規模多機能開設
(現リフシア柳島)
- 第4期2009年～2011年
高齢者が住み慣れた地域で生活する「地域包括ケア」の推進
- 24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護や「複合型サービス」(のちに看護小規模多機能型居宅介護に名称変更)、介護予防・日常生活支援総合事業の創設、サービス付き高齢者向け住宅、介護職員処遇改善加算の創設など
- ◆2011年4月
らいふ香川 小規模多機能・グループホーム開設(現リフシア香川)
- ◆2012年12月
らいふ松が丘 小規模多機能・デイサービス開設(現リフシア松が丘)
- ◆2013年9月
らいふ善行 小規模多機能・グループホーム開設(現リフシア善行)
- 第5期2012年～2014年
持続可能な社会保障制度を確立するために医療法や介護保険法を整備予防給付を地域支援事業に移行し多様化、特別養護老人ホームについて原則要介護3以上の重度化支援、自己負担2割負担導入
- ◆2014年1月
株式会社リフシアネット設立
(現セントラルキッチンタンボポ)
- ◆2014年5月
リフシア浜之郷 サービス付き高齢者向け住宅(居宅・訪問介護併設)
- ◆2014年8月
大勝建設から分社化、株式会社リフシアにサービス事業所名も変更
- 第6期2015年～2017年
「団塊世代」が後期高齢者となる2025年を見据えた「地域包括ケア計画」を策定、高齢者の自立支援、要介護状態の重度化予防、地域共生社会の実現を目指す、自己負担3割負担導入など
- ◆2015年9月
リフシア鵜沼海岸 ショートステイ・デイサービス開設
- ◆2016年3月
リフシア神明の小規模多機能を看護小規模多機能に変更
- ◆2017年5月
リフシア矢畑 看護小規模多機能・グループホーム開設
- ◆2017年7月
訪問看護ステーションリフシア開設

理念のもとでの事業展開〈地域限定〉

・茅ヶ崎・藤沢の人口集積部を中心に在宅生活を支える様々なサービス事業所を配置
・事業所配置には地域に暮らす方のアクセスを考慮 ・市域ごと、あるいは全体であたかも一つのサービスのよう機能する



新工場誕生！

「タンポポ」が新しく生まれかわりました



また、「バランスの良い食生活」や「嚥下機

セントラルキッチン「タンポポ」の基本方針

食べ物というモノを管理する「食物栄養」に加え、ヒトに寄り添って、人間の栄養管理をする「人間栄養」を推進する

在宅という臨床場面での栄養管理

- ・加齢や疾患などに伴い痩せる状態（栄養失調）
- ・痩せるのを防ぐため、多職種連携のもとでの栄養介入
- ・栄養改善により機能訓練や服薬効果などの高まり
- ・自立支援や重度化防止につながり在宅限界を高める

栄養ケアステーションとしての役割

- ・地域住民が栄養ケアの支援・指導を受けることの出来る拠点
- ・栄養相談、健康イベントセミナー、料理教室、栄養教室開催など



お問合せ先

セントラルキッチンタンポポ
☎0467-38-7315

タンポポは、食品の製造工程ごとにリスク管理を行う HACCP に準拠した衛生管理の下で、

以前の3〜4倍の製造（10万食／月以上）が可能になりました。実際の製造現場をご覧いただける設計になっていますので、来所された時には是非ご見学下さい。

担当部長 中川和之

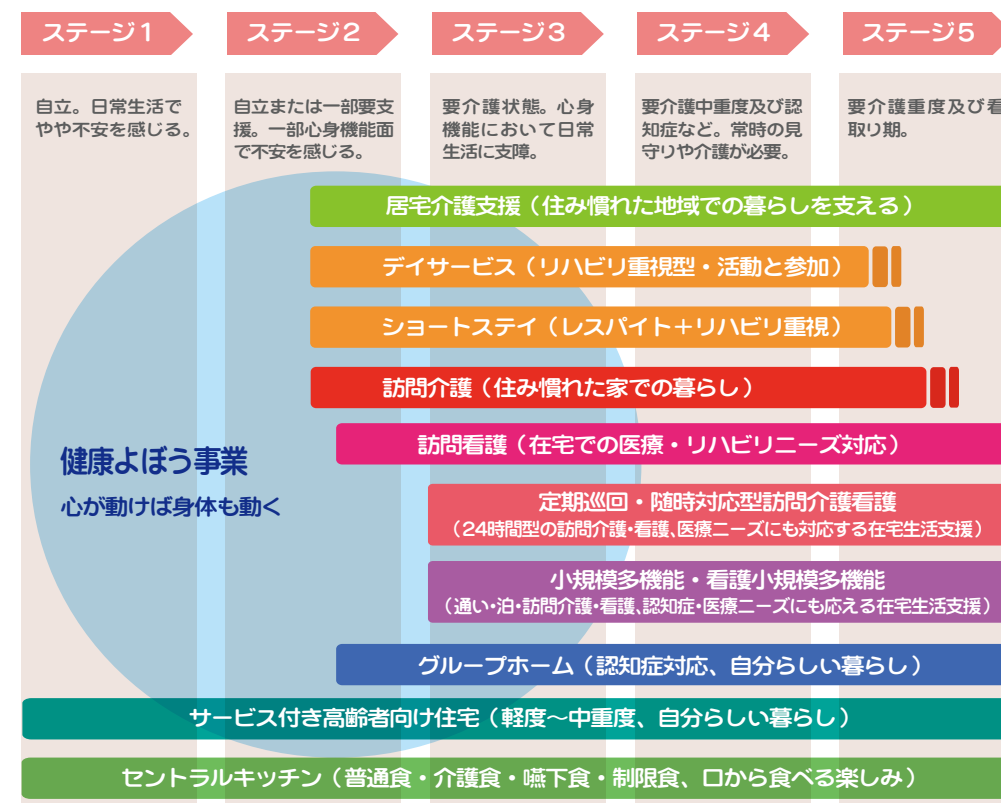
セントラルキッチン事業部
能に合わせた形態調整食」等の情報発信が出来るように、研修室もつくりました。地域の皆さまから勉強会の企画やご相談をどんどん受け入れて行きたいと考えています。これからもタンポポの「安全・安心なお食事」が、皆さまのお役に立つよう、職員一丸となつて、真心を込めて製造してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



タンポポはリフシアの介護事業から生まれたセントラルキッチンです。2014年から管理栄養士・栄養士が中心となり栄養素や物性を調整した高齢者向けのお食事を提供してきました。特に嚥下調整食はリフシアだけでなく、外部の医療機関・高齢者施設・障がい者施設・在宅と幅広く利用されるようになり、北海道、東京、千葉、京都、九州など県外にもお届けしています。この度、リフシア創業20年の節目に茅ヶ崎市円蔵に新工場をつくり、タンポポは新しく生まれ変わりました。5月に移転し製造を開始しています。（次頁に工場内部を紹介しています）

理念のもとでの事業展開〈サービス・ネットワーク〉

- ・心身状態のステージに対応するサービスネットワーク
- ・在宅向け配食（普通・介護・嚥下）で在宅の食環境改善
- ・在宅生活継続に必要なサービスを一元的に提供



このように、私たちリフシアは、明確な方向性と幅広い取り組みを通して、今までの延長線上ではなかなか測れない社会環境ではあります。これからの茅ヶ崎・藤沢における地域社会創造に積極的にその役割を果たしたいと考えています。これからもリフシア職員一同、日々奮闘してまいる所存です。地域の皆様方には、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

育成定着」

- ・業務分析やICT活用による業務改善
- ・目的は「生産性向上と職員の育成定着」
- ③介護現場の革新
- ・得心を持つて働ける職場環境整備や処遇改善、人財育成の重視
- ・業務分析やICT活用による業務改善
- ・目的は「生産性向上と職員の育成定着」

目的は「在宅限界を高める」

- ②地域包括ケアの推進
- ・疾病や要介護の状態になつても、尊厳をもって自宅を含む住み慣れた地域で暮らしていく仕組み
- ・暮らしを支えるには、介護・医療福祉等の多様な事業主体が連携・協働

- 第7期2018年〜2020年
地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムの整備、高齢者虐待の防止、人材の確保及び資質向上
- ◆2018年3月
リフシア大庭小規模多機能・グループホーム開設
- ◆2018年4月
ヘルパーステーション リフシア浜之郷 定期巡回・随時対応型訪問介護看護開設
- ◆2020年2月
訪問看護ステーション リフシア神明開設
- ◆2020年5月
ケアプランリフシア神明開設
- ◆2020年7月
ヘルパーステーション リフシア神明開設現リフシア辻堂 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 第8期2021年〜2023年
現役世代人口が急減する2040年を見据えた制度改革、感染症対策やBCP作成の義務化、質の高いサービス提供を「科学的介護」の実践で目指すLIFEデータ活用
- ◆2021年4月
リフシア藤が岡小規模多機能開設
- ◆2022年10月
株式会社リフシアネットを合併しセントラルキッチン事業部に組織再編
- ◆2023年4月
ケアプランリフシア神明を閉鎖し、ケアプランリフシアに統合、一本化する
- ◆2023年5月
セントラルキッチンタンポポ新工場に移転
- ◆2023年7月
株式会社リフシア創業20年を迎える

タンポポ新工場のご案内



料理教室にも対応
テストキッチン



手元が写る大型ミラーを設置

各種検体の検査を行う衛生検査室



クリーンベンチ



定員30名まで利用できる研修室

原材料素材別冷蔵・冷凍室

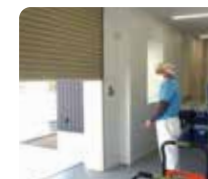


肉・魚下処理室



食品冷凍室

搬出・搬入口



見学者用通路

衛生管理された工場内を見学できます



2F

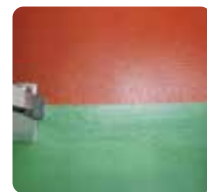


明るくて広々とした社員食堂

HACCP に準じた衛生管理を実施（汚染区域から清潔区域の行き来はできません）



エリア別床カラー



汚染区域
準清潔区域
清潔区域

エアシャワー

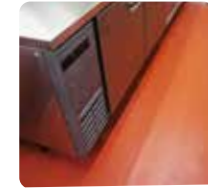
衛生管理されたパックエリア



嚥下食をパック



大量生産向け真空包装機



コールドテーブル

様々な工夫で介護食、ハイソフト食、嚥下食を調理します



ティルティングパン



真空包装機で低温調理



氷水冷却機



チルドバンク



食器洗浄機

真心こめて
つくります



認定栄養ケア
ステーション。
タンポポとは



タンポポの嚥下調整食は食材ごとにゲル化剤を調整し、口腔内でまとまりやすく、べたつきやむせにも注意し、風味や香りを楽しめるよう調理しています。

「食環境の改善」は「自立支援・重度化予防」の延長線上にあります。近年高齢者の入院に係わる疾患として、認知症や肺炎に加え、骨折と骨粗鬆症が明らかになっています。

寝たきりや要介護状態につながるため、予防に向けた「食生活の改善」は大きな課題と言えます。また、咀嚼（そしゃく）や嚥下（えんげ）機能が低下して直接身体に栄養補給する経管栄養法で命をつないでいる方も多くいらっしゃいます。品質の良い嚥下調整食の開発・提供は、需要の多い、少ないに関係なく高齢期の「生活の質（QOL）」を左右するので重要です。

私たちは、食えることが命に直結することを多くの人に理解していただき、元気なうちからその意識を高めて欲しいと願っています。その様な思いからタンポポは認定栄養ケアステーションの活動にも力を入れることにしました。病院には栄養サポートチーム（NST）があり、多職種で病気や手術等で十分なお食事が摂れない方の栄養補給や病気の回復・合併症の予防等に向けて栄養管理を行います。退院後も病気や障害を抱えながら地域で豊かに暮らせるよう、切れ目のない栄養サポートを行うのが認定栄養ケアステーションの役割です。

新工場には料理教室ができるテストキッチンもあります。栄養相談や勉強会、ミールラウンドの依頼が受けられるように、認定栄養ケアステーションの活動にもしっかりと取り組んでいきます。

